



～渡良瀬遊水地～ 自然紹介



2026.9.30

秋分の日が過ぎ、だいぶ暑さも落ち着いてきましたね。遊水地のヨシの穂も目立つようになりました。昔、この辺の地域ではススキではなく、ヨシやオギなどでお月見をしていたようです。台風の影響で雨がっていますが、晴れれば気持ちよく自然散策が出来る時期ですので、ぜひお出かけください。

～ワタラセツリフネソウ～



↑この花は
黄色入り・無斑タイプ



ヨシ焼後の芽吹き



ワタラセツリフネソウの群生

以前はツリフネソウと区別されていっていませんでしたが、2005年に新種として発表され、“ワタラセ”の名がつく遊水地を代表する植物のひとつとなりました。遊水地にはワタラセばかりでツリフネソウは発見されていません。しかし混生している産地が見つかったので、遊水地にもある可能性はゼロではありません。花の形は名の通り、“船を吊り下げたように見える”ことに由来していて、面白い形をしています。ワタラセツリフネソウの花には4つの型があり、遊水地に群生している株はどのタイプか調べてみてみるのも面白いですよ！今年は史跡保全ゾーンの鎌立橋周辺で観察できます。



①白色・斑点タイプ



②白色・無斑タイプ



③黄色入り・斑点タイプ

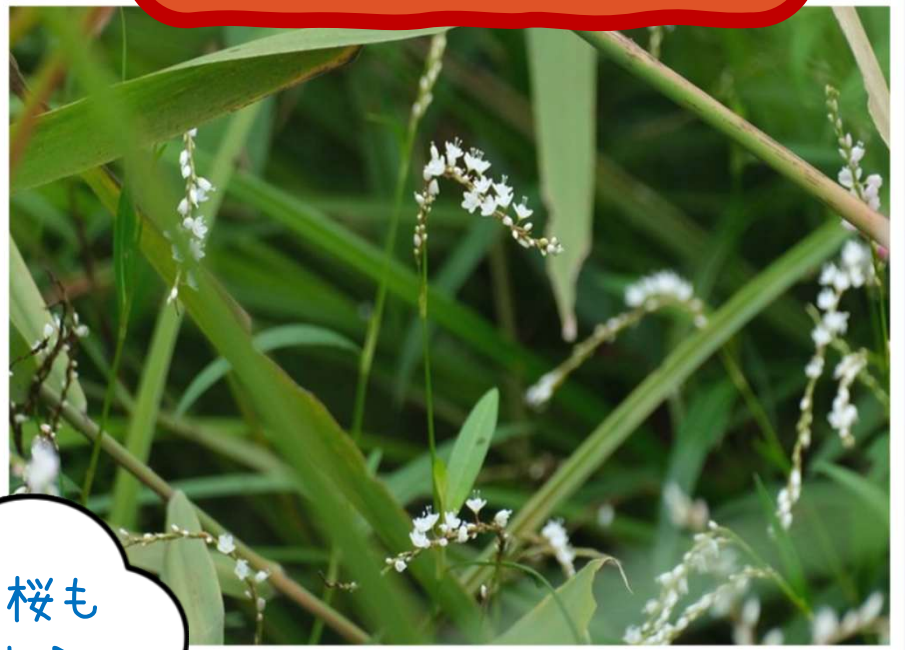


④黄色入り・無斑タイプ

サクラタデ



シロバナサクラタデ



毎年、秋の桜も
きれいです♪



ノコンギク

茎に逆さの
とげがあり、ウナギ
をたやすくつかめる
ということが由来

ミズトラノオ



ミゾソバ



アキノウナギツカミ

全体に褐色の
長毛と線毛があり、
線毛には独特の良いに
おいがするよ！

ニオイタデ



ツルボ



ナガバノシロワレモコウ